

# 米沢興讓館高校SSH通信

スーパーサイエンスハイスクール

今号は、サイエンスイノベーターの育成を目標に、山形大学城戸淳二教授を塾長とした城戸塾のH27年度修了式とH28年度入塾式、および、理系の女子(通称リケジョ)を育成するべく行われたRIKEJO-KOJO講座の2つのイベントについてご紹介します。

## 城戸淳二塾平成27年度修了式・平成28年度入塾式



3年生には修了証書が城戸教授より授与され、1.2年生の代表が宣誓を行い、入塾が許可されました。後日、2年生を対象に第1回城戸ゼミが行われました。

**城戸塾入塾式** (2年男子CSSC部員)

城戸塾の入塾式の様子、私はこれらの体験に緊張と楽しみを感じた。生徒宣誓を行ったとき、私はこの城戸塾に入塾したということを実感することができた。城戸塾は高校では体験のできない大学の研究に触れることができる。それは、大学の研究の雰囲気を感じ、他の高校生よりも一歩先に進むことができる。そのため城戸塾で多くのことを学ぶだろう。その経験を自分の力にできるように全力で城戸塾を楽しんでいきたい。

「城戸塾を終えて」 (3年男子CSSC部員)

先日、三年生の城戸淳二塾修了式及び、一、二年生の入塾式が行われました。

城戸塾では、大学の学部生や院生が使う施設を使用して研究することができました。また、高校よりも専門性も高い科学を学ぶ機会でもあり、科学の面白さ、奥深さを強く感じる機会だったと思います。

これから訪問研究を行う一年生、現在研究を行っている二年生には、この貴重な経験を楽しみながら有意義なものとしてほしいと思います。



## RIKEJO-KOJO講座



**RIKEJO-KOJO講座に参加して** (二年女子生徒)

私は七月二十六日に米沢栄養大学に赴き、減塩食育プロジェクト事業「健康プログラム」の開発に携わる金谷由希先生のお話をお聞きしました。

山形県は全国的にも高血圧の患者数が多く、食塩摂取量も多い県です。そこで考えられたのがこのプロジェクトでした。リストバンドやアプリを使って活動量を測定することで、対象者が無理なく続けられるところが魅力的だと思いました。また、少ない塩分で満足できるように、だしや酸味などを用いることが大切だと分かりました。今度実践してみようと思います。

私は将来、栄養関係の仕事に就きたいと考えています。今回の貴重な体験で、いっそう食に対して興味をもつことができました。これからもたくさん学んで、自分のやりたい仕事ができるよう頑張ります。

